

ポスター報告 39

竹内 愛 日本学術振興会

#報告題目 ネパール大地震被災で障害を負った女性たちの現状と自立支援

#報告キーワード ネパール大地震 自立支援 NGO

#報告要旨

2015年4月25日、ネパールでマグニチュード7.8の地震が発生し、ネパール全土で約8,900人の死者、2万人以上の負傷者が出た。震災で倒壊した建物の下敷きになって肢体不自由となり、今までの生活が一変してしまった人々が大勢いる。ネパールでは、障害者が普通に生活を送るための道路や建物のインフラ整備は十分に整っておらず、その生活は非常に困難が多いという。障害者の身体的機能の回復や社会統合のための支援、障害者のためのユニバーサルデザイン化には至っておらず、障害者は生きにくい現状がある。そこで、ネパール大地震で被災して障害を負った女性たちのために職業訓練をするNGOが設立され、現在、被災女性たちは、ジュエリーやバッグなどの製作・販売をすることで経済的な自立を目指している。

本発表では、NGO主催の2018年地震メモリアルデー式典に参加していた被災して障害を負った女性DさんとNGO設立者からのインタビューから、被災体験、NGOの活動の現状について報告し、今後のネパールにおける障害者支援のあり方について考察していきたい。

